



守りたい 守れる力
Wishing for Your Safety

蓄圧式・業務用 二酸化炭素消火器

精密機械も安心なガス系消火器

機械の細部に入り込み、確実に消火

電気室など精密機械がある場所での火災の際に、
薬剤汚損による二次リスクを最大限防ぐ二酸化
炭素消火器です。
BC火災に適應します。

二酸化炭素消火器

業務用

蓄圧式

国家検定
合格品



YC-5XII
5型 2.4kg

YC-7XII
7型 3.2kg

YC-10XII
10型 4.6kg

YC-15XII
15型 6.8kg

YC-50X
50型 23kg

STORED PRESSURE TYPE Business-use CARBON DIOXIDE FIRE EXTINGUISHER

推奨設置場所

電気室、サーバールーム、精密機械付近、クリーンルームなどにおすすめ。

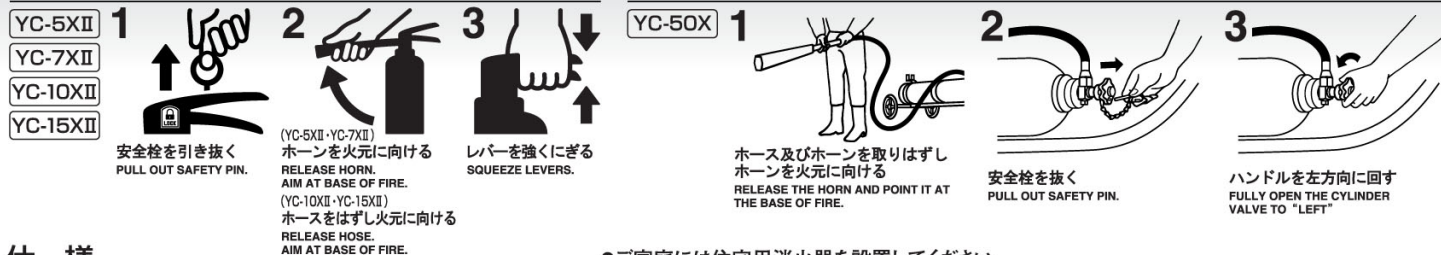


薬剤による汚損が困る場所には・・・

二酸化炭素消火器と水（浸潤剤等入り）消火器を一緒に置くことで、
消防法の設置基準を満たせます。

二酸化炭素消火器 業務用 × 蓄圧式 国家検定合格品

使用方法



仕様

	YC-5XII	YC-7XII	YC-10XII	YC-15XII	YC-50X
総質量	約8.5kg	約10.3kg	約14.3kg	約20.4kg	約100.0kg
薬剤質量	CO ₂ 2.4kg	CO ₂ 3.2kg	CO ₂ 4.6kg	CO ₂ 6.8kg	CO ₂ 23.0kg
全高	約47.7cm	約56.4cm	約73.4cm(ホース部を除く)	約77.3cm(ホース部を除く)	約100cm
全幅	約19.7cm	約19.7cm	約25.0cm	約26.5cm	約50cm
放射時間(20℃)	約14秒	約19秒	約21秒	約30秒	約40秒
放射距離(20℃)	2~4m	2~4m	2~5m	2~5m	2~5m
能力単位	B-1・C	B-2・C	B-3・C	B-4・C	B-6・C
使用温度範囲	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃	-30℃~+40℃
本体価格(税別)	32,000円	38,000円	41,500円	47,500円	270,000円
型式番号	消第23~426号	消第23~427号	消第23~437号	消第23~438号	消第23~334号

※商品を購入する際には、税込価格のほかに別途リサイクルシール代(非課税)が必要となります。

●ご家庭には住宅用消火器を設置してください。

○消火後、薬剤による汚損がなく精密機械も安心です。

不燃性ガスを放出して消火後に不純物が残らないため、製薬工場・食品工場・精密機械工場・紡績工場などに設置され、十分な効果を発揮します。

○断続放射が可能なストップ機構付き

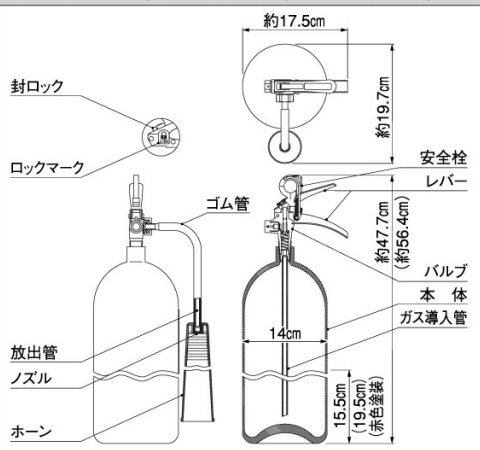
断続放射が可能なストップ機構付きですので、効果的に消火活動ができます。



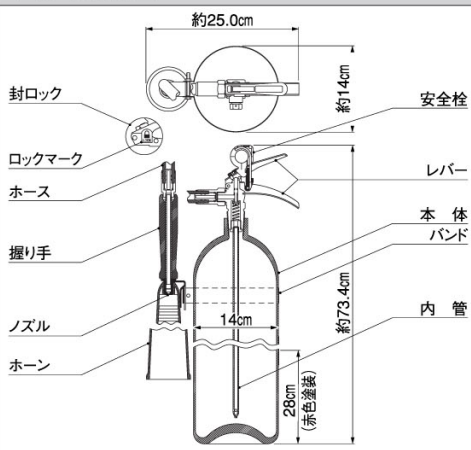
※一度でも放射した場合は、必ず再充てんしてください。

YC-5XII (YC-7XII)

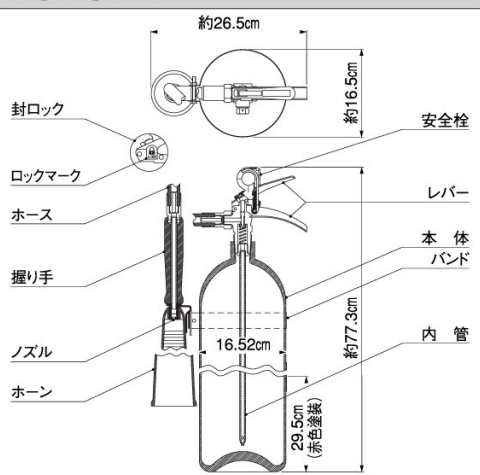
※カッコ内の数値は7型のもです。



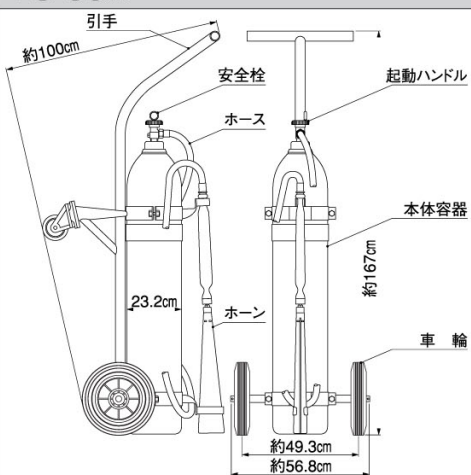
YC-10XII



YC-15XII



YC-50X



●二酸化炭素消火器の使用に際し、下記の事項にご注意ください。

1. 消火器の適応火災を確認してください。
2. 消火器の放射時間に注意してください。(おむね14秒~40秒です)
3. 消火器は、初期消火に用いることを認識してください。
4. 設置基準に応じた使用を守ってください。(消防法施行令第10条)
5. 必ず退路を確保して使用してください。
6. 二酸化炭素消火薬剤は再燃防止効果がありません。(完全消火しないと再燃着火して危険です)
7. 燃焼物に近づきすぎないでください。
8. 燃焼物の形状等を確認し、死角がないか注意して使用してください。(死角があると残り火が再着火する恐れがあります。もし危険がないなら火点に応じいろんな角度から消火するとより有効です)
9. 風上から消火するのが適当です。(煙や熱の影響を受けにくく放射もしやすい安全も確保できます)
10. 消火器は直立させて使用してください。(横倒しや逆さまで使用できません。車載式を除く)
11. 日頃から訓練し、消火器使用時の感覚などに慣れてください。(消火器は、使用者の慣れ・不慣れで大きく効力に差が出ます)
12. 二酸化炭素消火器を使用する場合は、酸欠・二酸化炭素中毒への十分な注意が必要です。空気呼吸器を備え、装着した上で使用するなど注意してください。

■詳細な取扱説明書をダウンロード出来ます。 http://www.yamatoprotec.co.jp/product_matrix/

▶消火器は目立つところに設置してください。

■消防法第17条の3に基づき6カ月に1回以上の点検を、消防設備士等の資格を有する人に依頼して行うようにしてください。

■一度放射されたら、ただちに消火薬剤を詰替えてください。試し放射はしないでください。

※ストップ付の消火器は、放射を一時的にストップすることができます。ただし、長時間放置していると、圧力ガスが漏れて使用できなくなりますので、一度使ったものは最後まで放射してください。使用後は、ただちに新しい消火薬剤の詰め替えを専門の業者に依頼してください。

※カタログ掲載商品は改良などのため、予告なく仕様・規格変更を行うことがあります。ご了承ください。

●あらゆる防災設備・機器のご用命は下記へ……………

ヤマトプロテック株式会社

本社 東京都港区白金台5-17-2 ホームページ <http://www.yamatoprotec.co.jp>

大阪・名古屋・札幌・仙台・さいたま・横浜・静岡・広島・尾道・四国・福岡・鹿児島・大阪工場・東京工場・中央研究所

※このカタログは、再生紙を使用しています。